

国有林林道が繋ぐ岐阜・三重の元気な森林づくり

（にゆうだに）このうらやま
（せぎよう）

近畿中国森林管理局 三重森林管理署

はじめに

国有林野の管理経営に当たっては、森林・林業の再生に貢献するため、民有林関係者等と川上から川下までの一体的な連携を図りつつ、民有林経営への支援等に積極的に取り組んでいます。具体的な取組の一つとして、国有林野

事業では、民有林と国有林とが連携することで、森林整備事業の効率化や低コスト化等を図ることができる地域において、「森林共同施業団地」を設定し民有林と国有林を接続する路網の整備やこの相互利用、連携した森林施業の実施、民有林材と国有林材の協調出荷等を推進しています（写真1）。

悟入谷・古野裏山

地域森林共同施業団地の概要

平成28年7月、三重森林管理署（国有林）は、所管する悟入谷・古野裏山国有林と、それに隣接し森林所有者の合意を得られた三重県・岐阜県の民有林（岐阜県森林公社、海津市太田自治会、津水源林整備事務所）との間で協定を締結

し、総面積765.77haにおよぶ森林共同施業団地（悟入谷・古野裏山地域森林共同施業団地）を設定しました。その後、民有林関係者から更なる同意が得られたことにより、平成30年10月には、駒野奥条入会財産区（管理者 海津市長）、平成31年3月には岐阜水源林整備事務所を加えた協定締結となり現在の総面積は1,659.32haとなっています。

具体的な取組内容

この悟入谷・古野裏山地域森林共同施業団地は、三重県北勢地域の北端、岐阜県濃尾平野の西端となる養老山地の南部に位置しており、稜線付近の三重県側が悟入谷・古野裏山国有林で、民有林（岐阜、三重両県）が隣接しています（写真2）。国有林内には木材の搬出等に不可欠な林道が背骨のように整備されている一方、国有林に隣接する民有林には基幹となる林道がなく、搬出間伐等の森林施業を行うには架線によるか、長距離の森林作業道を開設する必要があります。そこで、協定を締結し、国有林林道に連結する森林作業道を開設するとともに、協定締結者間で事業スケジュールの共有、木材搬出・路網作設計画の調整、国有林林道及び木材集積場（中間土場）の共同使

用などにより、効率的な木材の搬出を推進しています（写真3・4・5）。このように2県にまたがる森林共同施業団地の設定は珍しく、さらに、岐阜県は中部森林管理局管内であり、三重県は近畿中国森林管理局管内であることから、ふたつの森林管理局にまたがる森林共同施業団地にもなっています。

この共同施業団地では、民有林から効率的に木材を搬出できるよう、国有林林道から民有林側へ新たに連結する森林作業道の線形や、木材集積場（中間土場）の使用等について調整を行っています。民有林の協定関係者が国有林内の国有林林道及び木材集積場（中間土場）を使用することにより、大型トラックによる木材の搬出が可能となることから、作業効率が上がり、搬出コストの削減につながっています。また、平成28年度～平成30年度までの3年間で、複層伐を6.20ha、搬出間伐等を238.06ha、作業道作設を27,505m、植栽を2.20ha、素材生産を10,350m³実施しました。そのうち、国有林林道を利用した

管内概要

三重森林管理署は、三重県北部の亀山市に所在し、三重県内全域の国有林 21,5750ha、官行造林地 2,338ha を管理経営しています。

管内には、近畿の屋根とも言える大台ヶ原に接し、宮川流域の水源で、多様な動植物が生息する大杉谷国有林や、熊野灘に沿った世界遺産「熊野古道」のバッファゾーンで、レクリエーションの森として「日本美しの森お薦め国有林」にも選定され、潮風から住民を守る七里御浜国有林などをはじめとする公益的機能が強い国有林（森林）が多くあります。

特に、大杉谷国有林の内、約1,400haを「大杉谷森林生態系保護地域」に設定し、貴重な森林生態系（暖温帯林から亜寒帯林までの多様な森林が垂直分布している）の保護・保全を行っています。



署の基礎データ	所在地	三重県亀山市本町1丁目7-13	
	区域面積	577,441ha	うち森林面積 372,230ha
	国有林	21,575ha (国有林率 5.8%)	
	管轄区の関係市町村	10市7町（うち2町（）は官行造林のみ） 津市、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、伊賀市、松阪市、尾鷲市、熊野市、菰野町、大台町、紀北町、御浜町、紀宝町、（大紀町）、（南伊勢町）	



写真2 岐阜・三重県の稜線（右側の林道は国有林林道）

写真1 基幹となる国有林林道と木材集積場（中間土場）



写真3 民有林の作業道での積み込み（岐阜県）



写真4 岐阜県側の民有林材の積み込み（国有林内の木材集積場（中間土場））



写真5 大型トラックによる岐阜県側の民有林材の木材運搬（国有林林道）



写真6 国有林作業道側から連結前の写真（民有林側で作業道を延長し、連結）



写真7 国有林の林業専用道の新設工事箇所

・国有林から木材販売先・販売価格の情報が提供されることにより、新たな販売先の確保、木材販売先での安定価格に基づく価格交渉など、従来より有利な販売が出来る

・国有林林道と民有林で開設した森林作業道による循環路線が出来たことで、効率よく木材の運搬が行えた

・国有林の作業道と民有林の作業道を連結することにより、有林の作業道を連結することにより、搬出が困難だった森林の木材搬出が可能となった（写真6）

・この取組の実現に向けては、当初から本年に民有林・国有林の双方で搬出間伐の予定があったことから、本年2月に民国連携システム販売による木材の協議出荷の概要や利点などを説明すること、この取組の実施に向けた調整を行いました。民国が連携したシステム販売は、近畿中国森林管理局において初めての取組であるため、事業実行・出材状況等を取りまとめ、今後の民国連携業務の参考とする予定です。

森林共同施業団地の設定による民有林側の効果

連絡調整会議において協定相手方からは、

・国有林から木材販売先・販売価格の情報が提供されることにより、新たな販売先の確保、木材販売先での安定価格に基づく価格交渉など、従来より有利な販売が出来る

新たな取組

さらに本年度からは、木材のさらなる安定供給と森林所有者の利益還元を目指して、森林共同施業団地において民有林と国有林が連携して木材販売を行う「民国連携システム販売」という新たな取組を行うこととしています。

また、この地域で継続的に民有林と国有林が連携して森林施業を実施していくため、協定締結者及び団地関係者と協議を行い、森林整備事業の事業量確保、木材の安定供給、新たな協定者・協定区域の拡張に向けた取組を行っていきます。

三重森林管理署では、成熟した森林の主伐・再造林の増加に備え、効率的な造林の実現に向けて、新たな取組を実施していく予定です。具体的には、国有林内の複層林施業の伐採跡地において、従来の苗と比べて効率的に植栽できるコンテナ苗の導入や、新たな獣害防護柵の設置・有害鳥獣の捕獲等の検証を行うこととしています。これらの結果については、民有林関係者等との現地検討会・学習会の開催を通じて、積極的に情報発信していく考えです。

新たな取組

さらに本年度からは、木材のさらなる安定供給と森林所有者の利益還元を目指して、森林共同施業団地において民有林と国有林が連携して木材販売を行う「民国連携システム販売」という新たな取組を行うこととしています。

おわりに

三重森林管理署では、成熟した森林の主伐・再造林の増加に備え、効率的な造林の実現に向けて、新たな取組を実施していく予定です。具体的には、国有林内の複層林施業の伐採跡地において、従来の苗と比べて効率的に植栽できるコンテナ苗の導入や、新たな獣害防護柵の設置・有害鳥獣の捕獲等の検証を行うこととしています。これらの結果については、民有林関係者等との現地検討会・学習会の開催を通じて、積極的に情報発信していく考えです。

悟入谷・古野裏山地域の森林共同施業団地 全体図（岐阜・三重県）

